

PSS REPORT 2014

第29期 中間事業報告書

平成25年7月1日 ▶ 平成25年12月31日



Precision System Science Co., Ltd.

プレジジョン・システム・サイエンス株式会社

▶ トップメッセージ

TOP MESSAGE

株主の皆様におかれましては、平素より当社の事業につきまして格別のご支援とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。PSSの事業進捗についてご報告させていただきます。

■事業の成長による社会貢献とは？

バイオ（遺伝子・タンパク質等）診断システムの提供を通じて

事業目的は、「いつでも、どこでも、誰でも」取り扱えるバイオ診断システムの提供を通じて、その診断情報を有効活用する事により、世の中の多くの人々に快適な生活を送って頂く事です。そのため事業領域における強みとして「自動化システム技術」を活かす事、すなわち「バイオテクノロジー」と日本企業の得意とする「ものづくり」を融合して、事業の成長による社会貢献をはたします。

PSSの技術コンセプトは、「シンプル、コンパクト、メンテナンスフリー」の自動化システムです。このコンセプトが、社会に受け入れられたDNA自動抽出装置は、累計1万台以上を世界的な企業を通じてOEM供給しました。現在では研究分野だけではなく、感染症やDNA鑑定等の臨床の現場でも利用されるようになりました。

今後PSSが事業の成長により社会貢献できるのは、この実績と経験を活かした応用展開です。すなわちDNA自動抽出技術（Magtration®）を発展させたバイオ診断システム（全自動化装置と一体化した検査試薬）の製品提供を通じて、世界のより多くの人々に、バイオ診断情報の有効活用による社会貢献に関わる事だと考えています。

■業績について

第29期（H26/6）第2Q連結累計期間業績と通期の見通しについて⇒参照 連結財務ハイライト

第29期第2Q業績は、前期比若干の売上減収でしたが、輸出割合が大きい当社にとっては、円安が追い風となり、売上総利益は前期比増益を確保しました。しかしながら、新製品の開発及び事業化推進のための費用増加を賄う事ができず、営業及び経常利益の黒字化は達成できませんでした。その一方で子会社PSSキャピタルが運営するバイオコンテンツファンドによる有価証券売却益の実現により、四半期純利益を確保できました。

通期の見通しにおいては、受注開発案件の量産化に伴う売上増や新規案件の獲得等による増収増益効果が期待できるものの、今期の費用増加要因を考慮して営業及び経常利益は赤字見通しに修正しました。しかしながら、有価証券売却益による特別利益を計上しており、当期純利益の黒字化並びに配当を実施する見込みです。

■中期事業計画進捗について

3か年計画について⇒参照 トピックス

この度、事業分野におけるバイオ診断市場において、PSSの自動化システム製品の利用用途が、将来的に従来の研究開発から臨床診断用途へと大きく変わっていく動向を踏まえ、現状の製品開発状況を鑑み、今期から3か年の中期事業計画を策定しています。

現在では、中期事業計画に沿って計画通りに新製品の上市に向けた開発活動、大館試薬センターの設立による試薬事業への本格的参入、臨床診断用途のための許認可（FDA、IVD規格等）対応を進めています。これらの事業計画を厳格に推進する事により株主・投資家の皆様の期待に応える成果をお見せできるものと考えています。

引き続きご支援のほど何卒宜しくお願い申し上げます。



プレジジョン・システム・サイエンス株式会社
代表取締役社長

日島 秀二

PSSの提案する診断システム

- 全自動遺伝子診断装置
geneLEAD I

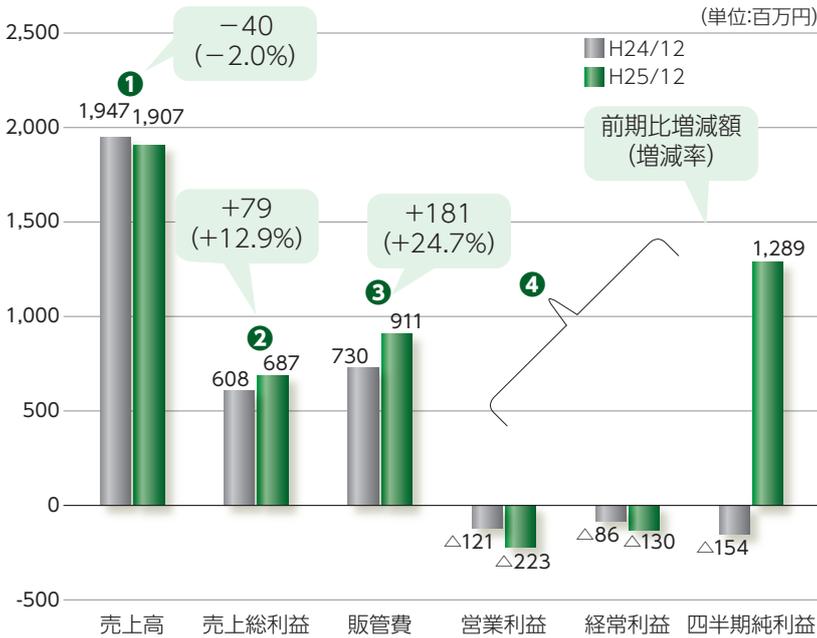


- 全自動免疫測定装置
LuBEA



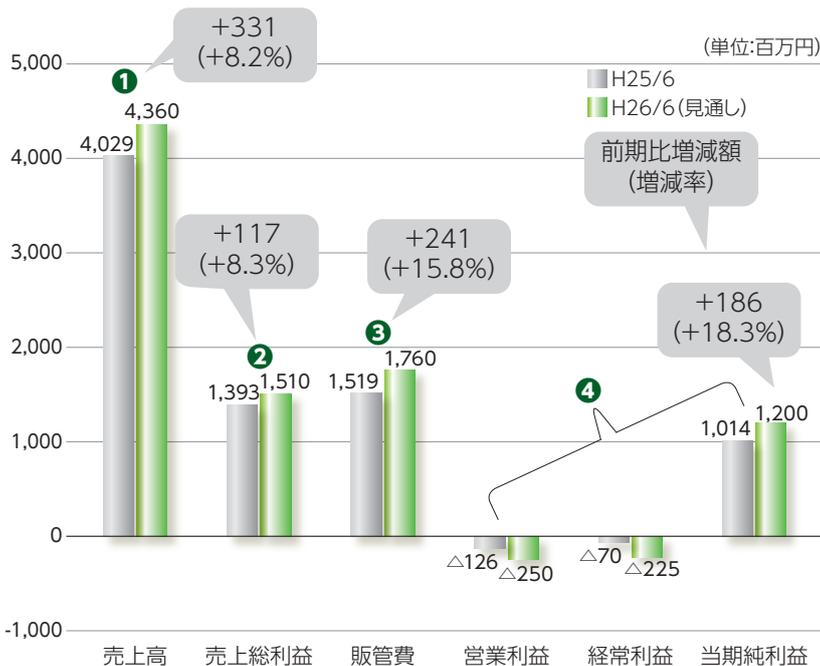
●第29期(H26/6)第2Q連結累計期間業績について

- 営業及び経常利益の黒字化は達成できませんでした。
- 一方で、特別利益の実現により、四半期純利益は黒字化しました。



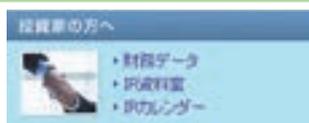
●第29期(H26/6)通期連結業績見通しについて

- 期初の業績見通しの修正を行いました。(平成25年11月14日)
- 営業利益、経常利益は赤字見通しになるも、特別利益の実現による当期純利益黒字達成により配当を実施予定。(1株当たり15円*)
- なお、為替の見通しは、1ドル=98.96円、1ユーロ=131.07円にて算定しております。



更に詳しい内容のコンテンツ

PSSWebサイト>投資家の方へ



●第28期(H25/6)第2Q業績比

✓前期比若干の減収

- ①OEM取引全体は順調に推移
- ②製造子会社エヌピーエス(株)の外部売上(PSSグループ向け販売を除く)計上するも当初見通しには達しなかったもの。

✓売上総利益改善

- ②主して海外売上の円安効果により売上総利益の改善を行う事ができました。

✓販管費の増加要因

- ③新規製品の開発及び事業化推進のため、人員増加、研究開発費及び特許関連費用が増加した事によるものです。

✓営業及び経常利益は赤字

✓有価証券売却益の実現による特別利益により四半期純利益の黒字化

- ④バイオコンテンツ投資事業有限責任組合の投資先である(株)リプロセルが株式上場し、保有株式を売却したことによるものです。それに伴い、特別利益として投資有価証券売却益3,822百万円を計上しました。

*平成26年1月1日を効力発生日として、1株につき200株の割合で株式分割を行う事を考慮しています。(分割前3,000円に相当)

⇒トピックス(株式分割の実施について)

●第28期(H25/6)業績比

✓売上拡大

- ①エリテックグループとの提携によるgeneLEADの販売展開(DNA抽出試薬含む) ②アボットグループ向けの検体前処理システム(2機種)の開発及び製品販売

✓売上総利益改善

- ②開発案件について期初見通しよりも製造追加コストが発生するも、エヌピーエス(株)を中心とした製造委託先との協力のもとに製造原価の改善に継続的に努めます。

✓販管費拡大

- ③今後の新規製品の開発及び事業展開に備えた人員増加、開発費、特許関連費用の増加を見込んでいます。

✓営業及び経常利益は赤字の見通し

✓有価証券売却益による特別利益を計上し、当期純利益改善と配当見込み

- ④バイオコンテンツ投資事業有限責任組合の投資先である(株)リプロセルの保有株式を全て売却しました。

■ 中期事業計画進捗

✓ PSSWebサイトより

■ (製品) geneLEAD (全自動遺伝子診断装置) & magLEAD 5bL (大容量遺伝子抽出装置)

✓ インフォメーション「アメリカ学会(SLAS2014)の講演と出展の報告」(H26年1月27日)
(講演)

PSS開発中の全自動遺伝子診断装置 (geneLEAD) について、1月18日から22日までアメリカ、サンディエゴで開催されたSociety for Laboratory Automation (SLAS2014) で講演を行いました。「全自動かつ自由度の高い遺伝子検査システム」をアピールする事により、世界中から来た学会参加者よりそれぞれの遺伝子研究テーマに関する診断システム自動化について、引き合いを受ける事ができました。

geneLEADの説明内容に対しては、自由度の高いシステムであるという事に興味を持ってもらいました。通常このようなシステムは専用の試験しかできませんが、geneLEADの場合は自由に遺伝子研究のための試験を組む事ができます。

また、少量多品種の試験をこなさなければいけない、中小規模のラボにおいても、「使い勝手が良さそうだ。」とのコメントを頂きました。

(出展について)

PSSブースには開発品として低価格の遺伝子抽出を目指している大容量サンプルからの抽出が行う事が可能なmagLEAD 5bLを展示しました。更には、全自動遺伝子検査装置geneLEADの情報をVideoとチラシという形で展示しました。双方とも他社にはない特徴的なシステムであり、興味をもって頂いた来場者が多数いました。

magLEAD 5bLの展示に関しては、従来の遺伝子抽出にて対応していなかった大容量 (20mLまで) を取り扱えるという事に対して大変興味深い問い合わせや数々の貴重な営業情報を頂く事ができました。

■ (製品) 次世代シーケンサー向け全自動前処理装置

✓ プレスリリース「RocheとPSSが開発する全自動エマルジョンPCR装置
に関して新たな開発契約を締結」(H25年9月24日)

● 全自動生化学分析装置
SpeLIA



■ (製品) 小型の生化学免疫自動化装置「SpeLIA (スペリア)」

✓ 日刊工業新聞記事「新製品フラッシュ」(H26年2月10日)にて紹介

■ (試薬事業推進) 大館試薬センター新設

✓ プレスリリース「大館試薬センター建設に関するお知らせ」(H25年8月26日)

PSSオリジナル試薬の開発・製造拠点として、子会社エヌピーエス (株) 内に施設を着工開始して、夏頃に完成見込みです。

✓ プレスリリース「秋田県の企業立地促進助成事業補助金に採択される大館試薬センターの建設」(H25年9月17日)

秋田県の企業立地促進助成事業補助金に採択されました。

● magLEAD 5bLの出展
(SLAS2014)



● 大館試薬センター
完成予想図



■ 株式分割の実施について

お知らせ及びご注意

✓ プレスリリース「株式分割、単元株制度の採用及び定款の一部変更に関するお知らせ」(H25年8月9日)

(株式分割の概要)

1. 分割の方法

平成25年12月31日 (火) をもって、最終の株主名簿に記載された株主の所有普通株式1株につき、200株の割合をもって分割いたします。

2. 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	91,260株	今回の分割により増加する株式数	18,160,740株
株式分割後の発行済株式総数	18,252,000株	株式分割後の発行可能株式総数	68,480,000株

✓ 電子公告「株式分割に関する基準日設定について」(H25年12月16日)

(単元株制度の採用)

1. 株式分割の実施と同時に、平成26年1月1日 (水) 付をもって、100株を1単元とする単元株制度を採用いたします。これにより、東京証券取引所JASDAQ市場における売買単位も1株から100株に変更されます。

2. 平成26年1月1日 (水) 付にて、株式の分割により増加した株式数が、お取引口座のある証券会社等または特別口座を管理する口座管理機関の振替口座簿に記録される事になります。

■ 個人投資家説明会ご案内

東京開催	
開催日時	平成26年4月5日 (土) 15:10~15:50 (予定) *1
会場	KDDIホール 東京都千代田区大手町1-8-1KDDI大手町ビル2階 TEL 03-3243-9301
主催者	株式会社インベストメントブリッジ http://www.bridge-salon.jp (ブリッジサロン*2: 3社合同説明会)
内容	代表取締役社長田島秀二より、直近の業績概況及び事業進捗についてご説明します。
ご参加申込方法	主催者の株式会社インベストメントブリッジへ直接お問い合わせ下さい。 お問い合わせの方法として、①電話②FAX
お問い合わせ先	株式会社インベストメントブリッジ ブリッジサロン参加希望 ①電話:03-5842-5765②FAX:03-5842-5767

*1記載しております開催時間につきましては、予定であるため変更される可能性があります。なお、PSSのWebサイトからも、予定が確定次第ご案内させていただきます。

*2ブリッジサロンは、(株)インベストメントブリッジが主催する個人投資家説明会です。

説明会会場に行けない方は?

↓

PSSのWebサイトからも
説明会動画を、
閲覧できるようにする予定です。



会社概要 (H25/12末現在)

CORPORATE PROFILE

商号：プレジジョン・システム・サイエンス株式会社
(英文社名)：Precision System Science Co., Ltd.

設立年月日：1985年7月17日

役員：代表取締役社長 田島 秀二
常務取締役 秋本 淳
取締役 小幡 公道
取締役 長岡 信夫
取締役 池田 秀雄
監査役 高橋 達雄
監査役 荻原 大輔
監査役 平山 伸之

(注) 荻原大輔氏及び平山伸之氏は、会社法第2条第16号で定める社外監査役です。

資本金：2,217百万円

従業員数：154名

(注) 従業員数は就業人員です。(派遣社員、パート等含まない)

連結子会社：Precision System Science USA, Inc.(米国)
Precision System Science Europe GmbH(ドイツ)
ユニバーサル・パイオ・リサーチ(株)(千葉県松戸市)
PSSキャピタル(株)(千葉県松戸市)
バイオコンテンツ投資事業有限責任組合(千葉県松戸市)
ジェネティン(株)(千葉県松戸市)
PaGE Science(株)(東京都小金井市)
エヌピーエス(株)(秋田県大館市)
(注) PaGE Science(株)は平成26年1月末をもって連結子会社対象ではありません。

事業内容：バイオ診断システムインテグレーター

遺伝子・タンパク質関連業界における研究施設(ラボ)の自動化や臨床診断分野向けの各種自動化機器の開発及び製造販売、並びにそれら機器に使用される研究用試薬や診断薬、プラスチック消耗品の製造販売等

株式の状況 (H25/12末現在) ⇒ ☆トピックス (株式分割の実施について)

STOCK INFORMATION

発行可能株式総数 342,400株 ★
発行済株式の総数 91,260株 ★
株主数 9,032名

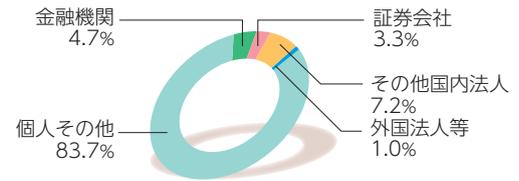
大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
田島 秀二	22,746	24.9
(有)ユニテック	6,000	6.6
日本証券金融(株)	3,612	4.0
高山 茂	966	1.1
(株)SBI証券	882	1.0
松井証券(株)	876	1.0
高橋 計行	832	0.9
プレジジョン・システム・サイエンス従業員持株会	690	0.8
小幡 公道	672	0.7
野村信託銀行(株) (投信口)	666	0.7

株主数推移(名)



所有者別保有株式数



株主メモ ⇒ ☆トピックス (株式分割の実施について)

SHAREHOLDER INFORMATION

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
剰余金の配当基準日	期末配当金 毎年6月30日 中間配当金 毎年12月31日
定時株主総会	毎年9月
単元株式数	100株 ★
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
公告方法	電子公告 (http://www.pss.co.jp) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載します。

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合*
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		・みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 ・みずほ証券株式会社 本店及び全国各支店
ご注意	未払配当金の支払・支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用下さい。	単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 *株券電子化実施(2009年1月5日)に際し、証券保管振替機構(ほふり)に株券を預託しなかった場合

PSS IRメール配信のご案内

PSSでは、個人株主・投資家の皆様とのコミュニケーションをはかるため、Eメール配信を行っております。プレスリリースや会社説明会のご案内等を、オンタイムでお知らせしております。

PSSWebサイト>Q&Aお問い合わせ>PSSIRクラブからメールアドレス登録ができますので、是非ご登録下さい。

(将来の見通しに関する注意事項)

本事業報告書では、当社グループの将来についての計画・戦略・業績に関する予測と見通しが含まれています。実際の業績は、述べられている見通しと異なる可能性があることをご承知おき下さい。

UD
FONT

VEGETABLE
OIL INK

プレジジョン・システム・サイエンス株式会社 IR・社長室

〒271-0064 千葉県松戸市上本郷88 ▶TEL: 047-303-4800 ▶FAX: 047-303-4810 ▶Eメール: ir@pss.co.jp